



神和台

平成7年9・30
第54号

神和台納涼祭

子どもたちの笑顔に

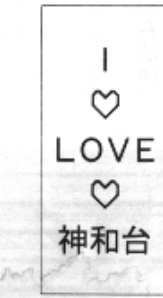
神和台の底力を見た

残暑厳しい、8月19日(土)に、神和台納涼祭が行なわれ、盛況のうち無事終了しました。

大盛況!!

今年度は、名称を納涼祭と銘を打ち実施されました。阪神大震災後まだ、7カ月しか経ておらず、震災甚大地区では、以前として厳しい生活状況を強いられ、復興の扉を開いたばかりです。案内状でもお知らせしたように例年実施されている盆踊りを中止して、模擬店に

納涼祭は、たくさんの方々に参加して頂き各店の売り上げも上々だったようです。しかし裏方の御苦労は、毎年そうですが、本当に大変です。



8月12日の櫓設置には、街区委員を中心に、街区委員を前日の18日には、夜10時まで準備に取り組みました。後片付けも翌日にきっちり行なわれ又来年度の盆踊りを待つばかりです。びっしり濡れたタオルを肩にかけ

の意を表しました。しかしこれには、たくさんの方々の議論が交わされました。実行委員会でも自治会役員がいましたが決定的になったの

「おでんのコーナーに行ったら、どうぞ。どうぞと腰掛けをみんなに持って来てくださるの、いたれりつくせりや。おでんもおいしかったし……本当は、あのきれいな提

仮設の
皆様の
よこいんど、

懸命にがんばるお手伝い有志の方々の姿を見ると、本当に神和台が好きなんだ、大切なんだと感じました。しかし若干お手伝いの男性の方が少なく、時間がかかってしまいました。来年度から少しずつ継続されていくでし

う。多くの方々のお手伝いをお願いいたします。本当にありがとうございます。

は「神和台の子供たちの楽しみを奪うのは、どうか」という意見でした。櫓設置から前日の準備、そして当日の担当者のがんばり、最後に後片付けと本当に御苦労様でした。又参加された皆様も満面の笑顔で心より楽しんで下さったと思います。特に抽選会場では大混雑で御迷惑をお掛けしましたが、一等賞のベルで感激の悲鳴をあげたり、まずまず成功に終えた納涼祭でした。

心から心へ

阪神大震災後、青少年問題協議会(青少協)を母体とする、名古屋ボランティアが急きょ誕生。大勢

頂けたでしょうか?

灯の下で踊りたかったんだけど。」と宮本さん。「皆に親切にしろて、ここは、ええとこや。いまさら焼けあたらけの長田に帰りとうないわ。」といつもせりふを吉田さん。

二号棟の中村さんは、賞品のお米まで頂出し、みんなバザーでいろいろなものを買ったりして楽しんで様子。神和台の皆さん、どうも、ありがとうございます。

仮設学園緑が丘(小東山)の自治会長をされている、坂本博司氏より、つぎのようなお便りを頂きました。

神和台から五百円の金券百世帯分を添えて、「納涼祭」にご招待いただいた。仮設からは、給食会でのなじみもあって、思ったより多数の参加があった。

自治会議から

第4回 7月10日(月)
環境部 護美ステーションの清掃当番を忘れずに。
東公園のブランコの「キーキー」を土木局に。
防災部 街灯点検そして集会所近くの橋のらんかんを応急措置しています。
運営管理部 集会所倉庫の修理を早急に。
他は現状報告でした。

愛の活動

の温かい心が集まり、炊き出しを六回行うことができました。大体一回平均千食分。一度は欲張ってぜんざい・豚汁・うどんと三種類したことも……

このボランティアの火を消してしまうのは、惜しい。細々とでもともし続けたいと思っていた時、小東山に仮設住宅ができたこと聞きました。そして、そこで給食サービスを中心になってされている方と、区子連の関係で知り合

い、「六月より、月二回給食サービスを始めようと、スタートしたものの、机・椅子を運ぶ人がいなくて……。」と言われるのを聞き、お手伝いを考えました。月二回の日曜日、名古屋ボランティアの人が、いっしょにお弁当を食べ、談笑・カラオケ……と楽しい時を過ごしております。

名古屋ボランティア代表
河野 和子



敢えて・今

テレビ報道などマスコミも地震関連からオウム一色になり、少しずつ関心が薄くなっているのでは。しかし、我々は決して忘れてはいけない。そこで四月に投函された一通の手紙を記載します。

阪神大震災に思う

忘れも出来ない一月十七日早朝一瞬の出来事がまるでこの世の終りかと思える程の恐怖人生設計メチャメチャ
これから先の事を思うと頭の中が真白
テレビで観る長田区の火災、倒壊、想像以上だ。通行止になった道路に車を放置、我店のある長田へ急ぐ。ガス爆発、音とともに黒煙があがる。今までの苦勞が水の泡となり、涙が止まらない、生きたこちはしなかった。

でも幸いにして、激震大火の中で、奇跡的に残った店舗、五、六日経ち、親類は元より、北海道、九州の旧友より激励のメッセージや支援が届く、皆に勇気づけられ心にゆとりと落着きを取り戻した。あれから四カ月余りが経ち、今も見るもの、聞くもの、話す事、すべて「地震」が根にあり、まだ、心は完全に立ち直っていない。だが、この震災で財は失ったが、人とのつながり、友の大切さ、ありがたさを教えてもらった気がする。

青野 俊夫

転入された方

◎平成7年7月15日
多田 数義 様(三十一一) (一)
◎平成7年7月27日
河合 久男 様(三十七一十五)

納涼祭 各コーナーから

抽選会場 混雑して申し訳ないです。しかし、私たちがトイレにもいけなかったのです。

焼きそば・おでん パッチリ・大成功
かき氷 何と開始早々一台故障、本当に御迷惑お掛け致しましたが、長い列が出来る等、ありがとうございました。

古本 携帯用ランプは、ありがたかったです。応援の方々も感謝してまいります。

バザー 数十足のクラリーノの靴等多くの品が集まり立派なバザーでした。尚バザーの余りは、8/25(金)の「亡き友をしのんで、ふれあい区民の夕べ」に提供し、社会福祉協議会より、お礼をいただきました。

◎その他 うどん・フランクフルト・ヨーヨーすくい・有志の方々お礼と応援の方々に感謝の言葉が寄せられました。最後に西日で溶ける氷水にぬれながら頑張った管理部の皆様も御苦労様でした。

川柳

(八月四日週刊小説掲載)
ゲシユタポの匂いも少しするサリン
すくすくと 人の痛みの解る子に
ブローニエの森でコロとばったりと
枕木のイデオロギーに脱帽す
巻き戻しすれば幸せ音がする

神和台二丁目四一七

泉 佳恵



自分たちの足跡

思いもよらぬ大震災により33年間営業していた六甲店が全壊しましたが永年閉めていた神和台店と夫婦共身体が無事だったのでもう一度一からガンバローと思いがん

大相撲名古屋場所

- 一、勝ち名乗り受けて嬉しき巨体かな
 - 一、勝ち越しを決めて花道胸を張り
 - 一、墨磨りて老の入門蝉が鳴く
 - 一、サルスベリ、核はいらぬと揺れている
 - 一、たらちねの親の輪を遙か越え
- 何時か八十路に入りし我かな



三丁目

荻野 信枝

神和台の集会所をお借り出来て感謝しております。

学童保育の子ども達も、元気に夏休みを送ることが出来ました。

神和台学童保育父母の会

神和台学童保育所が生れて今年で十四年目になります。十三年間は、指導員宅を開放して行われて

いましたが、今年はずっとの数が十九名になり、皆様の御理解の上

で、集会所を四日お借りし、指導員宅を一日という形で行われてい

ます。

学童保育所は、共働き、単身家庭等の小学生の放課後、もしくは長期休み等をすこす生活の場として設けられています。運営は、主任児童委員(三丁目河野様)神和

台自治会長、名谷小学校PTA会長、神和台学童保育父母の会会長と同OBの五名の地域運営委員長を受け皿とし、神戸市からの助成金と保育料を基に父母の会が運営しています。

この二、三年子どもの数が増え

指導員宅での保育が出来ない状況になり、運営委員の方々、又名谷町連合協議会長、青少年協名谷支部長、名谷地区民生委員協議会代表の方々の御援助、御指導を受け、

連名で「名谷小学校区に児童館の

理容へアーサロンコーキ

男性かつらも、オーダーしてお

ります。価格はメーカーの半値

予約も承ります。

神戸市垂水区神和台一丁目九の七

かな習字を

習いませんか

神和台の皆さん 仮名書道と一緒に習いませんか

(一) 月三回 月曜日

午後一時～二時まで

(二) 御指導 山本 桜城先生

(三) 場所 私の自宅

連絡先 くわしくは

TEL七九二二六〇三

三丁目七ノ十三 近藤美恵子まで

よろしく

尚 営業時間 AM 9:00～PM 6:00

毎週 月火曜日 連休日

電話 七九一八五六

(中央通りで頑張るコーキさん)

早期建設の実現とその間の小学校の余裕教室での学童保育所の開設を「の陳情書を、市長、民生局長宛に昨年の十二月に提出してあります。その後震災があり、既存の児童館の被害も、大と聞いておりますが、今後おねばり強い運動をつづけていく所存です。地域の皆様の御理解、御支援の程よろしくお願いいたします。

十三年間地域の子どもさんといっしょにやって来た「自然は友だち」が水曜日の下校が遅くなり出来なくなりとても残念です。この六月からは、神和台文庫と協力して、第二火曜日四時から「おはなし会」を集会所で行っています。是非おこし下さい。

あ、汗だくだった納涼祭からスポーツ・文化の秋へ。とてもすこし暑い季節となってきました。オリックスBWも感動の優勝をし、日本シリーズへと、何やら神和台周辺も活気づいているようですね。しかし諸問題も蓄積されています。環境問題、ペットの管理・無茶な駐車そしてこれから始まるとうする兼北の造成工事。住民一同で考えそしてこの神和台を盛り上げましょう。

今回は、担当者の都合で発行が遅れました。特に短歌、川柳コーナーの方に心からお詫び申し上げます。次号もよろしくお願致します。尚、締切は、11月末日です。ので各広報部・集会所ポストまで。

編集 後記

広報部